

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	コロナ禍において外出活動がほとんどできていない、楽しみのある生活の支援、外出が無くなり歩く機会も減り身体機能の低下も見られる。少しでも外へ出ることで季節を感じたり、気分転換を出来るような活動を取り入れたい。	①天候の良い日に近隣の散歩を取り入れる。 ②庭で活動をする。(コーヒータム、体操等)	①真夏、真冬を避けて散歩を行う、近くの神社、花が咲いている場所を探してコースに取り入れる。可能な限りマスクを着用して出かける。 ②庭先で行える活動もあり、外気に触れる時間を提供する。イベントも考える。	12ヶ月
2	13	コロナ禍において研修が開催出来ていない、外部の研修でもオンライン研修が多い為参加は出来るが、身になっているかと思うと難しい点もある。	①集まって研修は控えたいが、資料を作成しその内容に対して実際に取り組んだり、施設内で体験を通して学べる機会を作る。 ②職員個別で足りないと感じる項目を明確にし弱点を補えるように取り組んでいく。	①管理者は業務上必要だと感じた内容に対して資料を作る。その内容について意見などをもらい、実際にどうしていくか方向性を打ち出し実際に行いながら職員が評価、改善できるようにしていく。 ②管理者は職員別で足りないと感じるものを明確にし面談等で伝える。また学べるようサポートする。	12ヶ月
3	19	コロナ禍において面会中止などにより、ご家族様との接点が減ってきている。確実にお伝えしたい内容は手紙、電話で伝えているが、何気ないコミュニケーションが関係を構築していくと思いますが、中々難しい。必要な時だけお話するだけでは関係が薄くなってってしまう。	①ご家族様来所持写真の掲示や活動時の写真を見て頂きながら、活動の話をする。 ②本人が電話をしたり、手紙を書いたりしていく。	①活動写真を印刷し掲示する。よい場面の写真をご家族に渡す。 ②電話などはかかるのを待つだけではなく、入居者様本人が掛けれるよう整備する。手紙を書く機会を増やす。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。